

特別企画: 医療機関の倒産動向調査 (2019 年上半期)

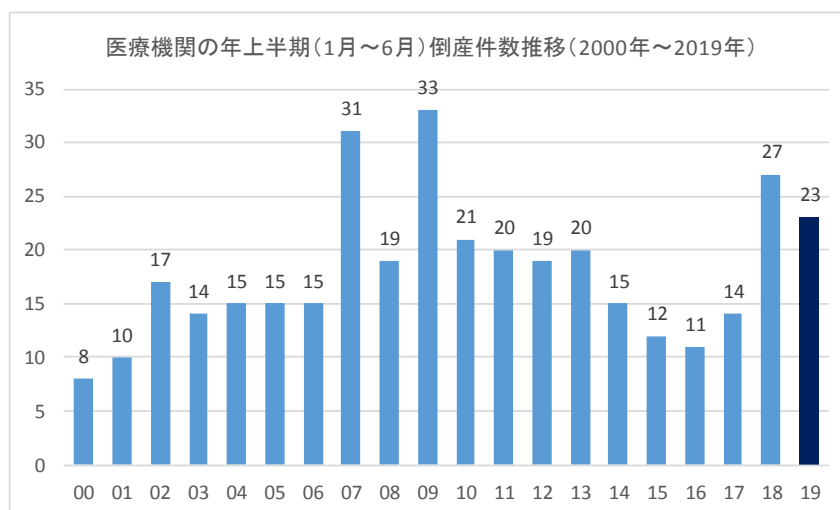
2019 年上半期の医療機関倒産は 23 件

～2000 年以降の 20 年間で 4 番目の高水準～

昨年 (2018 年) の医療機関 (病院、診療所、歯科医院) の倒産件数は 40 件となり、2010 年 (41 件) 以来、8 年ぶりに 40 件に達した。「歯科医院」の倒産が 2000 年以降最多となる 23 件 (構成比 57.5%、3 頁参照) 発生したという特殊要因が背景にあったためだ。しかし、2019 年は「歯科医院」の倒産が落ち着きを見せる一方、「病院」「診療所」の倒産が高水準で推移し、昨年に続き 40 件に達する勢いを見せている。帝国データバンクでは、2019 年上半期 (1 月～6 月) に発生した医療機関の倒産を分析した。

調査結果

- 2019 年上半期 (1 月～6 月) の医療機関 (病院・診療所・歯科医院) の倒産 (負債 1000 万円以上、法的整理) は 23 件となり、前年同期 (2018 年 1 月～6 月=27 件) 比で 4 件減少 (14.8%減) したものの、2000 年以降の 20 年間で見ると 4 番目の高水準
- 負債総額は 103 億 2900 万円となり、前年同期 (62 億 3400 万円) 比で 40 億 9500 万円増加 (65.7%増)
- 23 件を業態別にみると「病院」が 5 件 (負債 57 億 5700 万円)、「診療所」が 13 件 (同 43 億 2900 万円)、「歯科医院」が 5 件 (同 2 億 4300 万円)。また、態様別では「破産」が 18 件 (構成比 78.3%)、「民事再生法」が 5 件 (同 21.7%)、都道府県別では 17 都道府県で発生し、「北海道」「東京都」「神奈川県」「岐阜県」「京都府」「広島県」が各 2 件で最多となったほか、倒産主因別では来院患者数の減少などによる「収入減少」が 14 件 (構成比 60.9%) で最多
- 負債額 10 億円以上の倒産は 4 件発生。負債額最大となったのは「さいたま記念病院」などを運営してきた医療法人一成会 (さいたま市見沼区) で約 17 億 2400 万円



〈参考データ〉
医療機関の倒産件数推移

年	倒産件数
2000年	19
2001年	21
2002年	31
2003年	28
2004年	35
2005年	28
2006年	30
2007年	48
2008年	35
2009年	52
2010年	41
2011年	32
2012年	37
2013年	36
2014年	29
2015年	25
2016年	34
2017年	25
2018年	40

各年1月～12月の件数

1. 医療機関の倒産、2019年上半期は23件。2000年以降の20年間で4番目の高水準

2019年上半期（1月～6月）の医療機関（病院・診療所・歯科医院）の倒産（負債1000万円以上、法的整理）は23件となった。内訳は「病院」が5件、「診療所」が13件、「歯科医院」が5件。前年同期（2018年1月～6月＝27件）比で4件減少（14.8%減）となったものの、2000年以降の20年間でみると、2009年（33件）、2007年（31件）、2018年（27件）に次ぐ4番目の高水準となっている。

負債総額は103億2900万円となり、前年同期（62億3400万円）比で40億9500万円増加（65.7%増）。内訳は「病院」が57億5700万円、「診療所」が43億2900万円、「歯科医院」が2億4300万円となった。

6月までの倒産件数23件を年換算すると2019年（1年間）の倒産件数は46件前後になることが予想されるが、2000年～2018年までの19年間で年間の倒産件数が40件に達したのは2009年（52件）、2007年（48件）、2010年（41件）、2018年（40件）の4年間のみとなっており、下半期の動向が注目される。

2019年上半期の特徴は「診療所」と「病院」の倒産が多いこと。「診療所」の倒産は2000年以降、2009年上半期（16件）に次ぐ2番目、「病院」は2007年上半期（12件）、2010年上半期（8件）、2009年上半期（6件）に次ぐ4番目の高水準となっている。

医療機関の倒産件数・負債総額の推移（上半期）

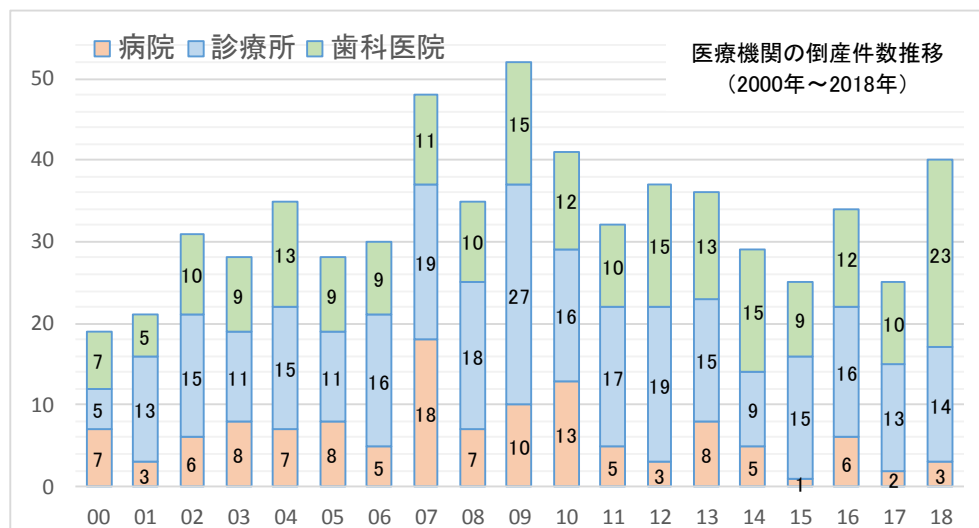
	倒産件数				合計	負債総額(百万円)			合計
	病院	診療所	歯科医院			病院	診療所	歯科医院	
2000年上半期	4	1	3	8	8,744	200	413	9,357	
2001年上半期	1	6	3	10	1,059	1,468	290	2,817	
2002年上半期	2	9	6	17	21,500	1,983	1,140	24,623	
2003年上半期	1	8	5	14	823	1,050	552	2,425	
2004年上半期	4	7	4	15	6,030	3,300	1,880	11,210	
2005年上半期	4	4	7	15	5,663	1,720	192	7,575	
2006年上半期	1	10	4	15	2,000	2,070	705	4,775	
2007年上半期	12	10	9	31	25,666	2,653	1,863	30,182	
2008年上半期	3	10	6	19	3,770	2,994	1,130	7,894	
2009年上半期	6	16	11	33	11,795	6,040	1,895	19,730	
2010年上半期	8	5	8	21	10,431	8,271	1,012	19,714	
2011年上半期	4	9	7	20	4,519	4,643	450	9,612	
2012年上半期	1	10	8	19	2,447	760	1,000	4,207	
2013年上半期	3	11	6	20	3,442	3,086	975	7,503	
2014年上半期	0	7	8	15	0	2,857	842	3,699	
2015年上半期	0	9	3	12	0	2,668	180	2,848	
2016年上半期	1	4	6	11	4,281	663	710	5,654	
2017年上半期	2	6	6	14	10,100	3,388	96	13,584	
2018年上半期	2	10	15	27	3,325	2,101	808	6,234	
2019年上半期	5	13	5	23	5,757	4,329	243	10,329	

2. 2019年上半期は17都道府県で倒産が発生、「破産」が78%を占める

2019年上半期に倒産した医療機関23件を分析すると下記の通りとなった。

- ① **態様別** 「破産」が18件（構成比78.3%）、「民事再生法」が5件（同21.7%）。
- ② **都道府県別** 17都道府県で発生。「北海道」「東京都」「神奈川県」「岐阜県」「京都府」「広島県」が各2件で最多となった。
- ③ **倒産主因別** 来院患者数の減少などによる「収入減少」（14件、構成比60.9%）が最も多く、以下、「経営者の病気・死亡」（3件）、「人材の不足」（2件）と続いた。
- ④ **負債額別** 「1億円～5億円未満」（7件、構成比30.4%）が最も多く、以下、「1000万円～5000万円未満」「5億円～10億円未満」（各5件、同21.7%）、「10億円以上」（4件、同17.4%）、「5000万円～1億円未満」（2件、同8.7%）と続いた。負債額最大となったのは「さいたま記念病院」などを運営してきた医療法人一成会（さいたま市見沼区）で約17億2400万円。
- ⑤ **業歴別** 設立から倒産までの期間を分類すると、「30年以上」（6件、構成比26.1%）が最も多く、以下、「20年～30年未満」（5件、同21.7%）、「10年～15年未満」「15年～20年未満」（各4件、同17.4%）、「5年～10年未満」（3件、同13.0%）、「3年未満」（1件、同4.3%）と続いた。

〈参考データ〉医療機関の倒産件数推移と業態別内訳(2000年～2018年)



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【内容に関する問い合わせ先】

(株) 帝国データバンク 東京支社情報部 担当：阿部

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348